

## 第2回公安委員会定例会開催状況

### 1 開催日時

令和7年1月23日（木）13時30分～17時30分

### 2 決裁事項

#### (1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

#### (2) 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

警察本部から、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について報告を受け、決裁した。

#### (3) 審査請求の裁決

警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。

#### (4) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

#### (5) 岡山県警察関係手数料徴収条例の一部改正（案）

警察本部から、岡山県警察関係手数料徴収条例の一部改正（案）について報告を受け、決裁した。

#### (6) 公安委員会規則の一部改正

警察本部から、公安委員会規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

### 3 報告事項

#### (1) 令和6年度各種監察実施状況（令和6年10～12月）

警察本部から、

- 総合監察は、9月から12月までの間に全22警察署で実施しており、第2四半期に実施した4警察署に続き、今期は残りの18警察署で実施した。
- 良好事項としては、各警察署で工夫を凝らした独自の資料を作成し、朝礼や幹部会議等の機会を利用して非違事案防止、ハラスメント防止及び健康管理等の各種教養を実施していた。
- 指摘事項等としては、外部記録媒体等に不要なデータが残存しているなどが認められた。

- 随時監察として、「給与業務関係」は本部16所属及び14警察署を対象に、「宿日直関係」は6警察署及び1執行隊を対象に、「交番等関係」は59交番及び46駐在所を対象にそれぞれ実施した。
- 指摘事項等については、いずれも改善措置を講じさせるとともに、再発防止を指示した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「監察自体がマンネリ化しないよう心掛けていただきたい。ITの高度化による業務ミスが発生しないよう対策をする必要があると思う。

手当の支給は細かい分類があり大変な作業であると思う。自動化が可能な部分については、システムを導入していただきたい。」

旨を発言した。

(2) 令和6年中の公文書及び保有個人情報の開示請求状況

警察本部から、

- 公文書開示請求の受理件数は173件と、前年比38件増加、保有個人情報開示請求の受理件数は183件と、前年比25件増加した。
- 公文書では、建設工事等関係、懲戒等処分関係、信号現示表等が多くを占めた。
- 保有個人情報では、相談受理票、ストーカー・DV等事案対応票、110番指令・署指令処理票等が多くを占めた。
- 開示決定の状況は、公文書については80件を全部開示、65件を一部開示したもので、保有個人情報については3件を全部開示、174件を部分開示した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「民事事件等で使用するため開示請求をすることが増えていると思う。保有する個人情報の件数も多くなっているため、情報漏洩がないよう管理を徹底していただきたい。

自分が伝えたかった事実がうまく警察に伝わっているか確認するために開示請求をする者もいると思う。丁寧な対応を心掛けていただきたい。」

旨を発言した。

(3) 令和6年中のサイバー犯罪対策推進状況（暫定値）

警察本部から、

- 令和6年中のサイバー犯罪相談件数は5,119件と、過去最多であった令和5年の相談件数と比較して94件増加、検挙件数は278件と、前年比67件増加した。
- 主な検挙事例としては、スマホの紛失をかたって携帯ショップで他人の契約内容を無断変更の上、不正送金等を行った不正アクセス、電子計算機使用詐欺等事件等が挙げられる。
- 主な取組として、サイバー防犯ボランティアの活性化等による広報啓発活動の強化、サイバー事案指定捜査員の指定等による対処能力の強化、削除要請等による違法・有害情報対策の強化及び携帯電話解析ソフトを搭載した高度解析用パソコンの導入等による解析・捜査支援の推進を行った。

旨の報告を受けた。

委員が、

「サイバー犯罪は都道府県の区別なく発生するため、県をまたいだ横断的な捜査をしていただきたい。

サイバー犯罪に対して対抗手段を持つことは大切であると思う。サイバー犯罪が高度化する中、今後もプロフェッショナルの育成に注力していただきたい。」

旨を発言した。

(4) 令和6年度自転車鍵かけコンテストの開催結果

警察本部から、

- 少年に対し「自転車盗の被害者にも加害者にもならない」という防犯・規範意識を醸成し、健全育成を図ることを目的として、参加校の生徒や教職員が一体となり、校内駐輪場での自転車の鍵掛けに取り組んだもので、施錠率調査の結果を踏まえ、成績優秀校等を表彰するものであり、今年度は過去最高となる197校が参加した。
- 調査方法は、令和6年9月から11月までの間、警察職員や少年警察協助手員が毎月1回（合計3回）参加校に赴き、自転車の施錠台数等を確認した。
- 参加校を自転車登録台数の規模に応じて3グループに分類し、各グループにおける施錠率第1位及び上位10%以内の学校に知事表彰、施錠率90%を超え、かつ、前年度と比較して施錠率が最も改善した学校に生活安全部長表彰、施錠率75.2%以上、かつ、スローガンが優秀な学校に岡山県少年警察協助手員会連合会長表彰を授与する。
- 表彰式は、2月10日（月）、警察本部において開催する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「学校の駐輪場でも自転車盗が発生しているため、鍵掛けを習慣付けることは重要であると思う。

犯罪者のほとんどは未成年のときにも犯罪を犯している。自転車盗自体も悪いことだが、子供たちが悪に染まらないよう初犯を防ぐことが重要であるということを先生や生徒に理解してもらえるよう取り組んでいただきたい。」

旨を発言した。

(5) 令和6年中の110番通報受理及び初動警察活動実施状況

警察本部から、

- 令和6年中の110番通報受理件数は187,962件と、前年比8,976件減少したが、有効事案の受理件数がやや増加した一方で、いたずらや間違い電話等の非有効事案が大幅に減少した。
- 緊急配備は15件実施して5件を検挙、初動活動は126件実施して25件を検挙した。
- 緊急配備等による主な検挙事例として、事後強盗事件や窃盗（ATM破り）事件、初動活動による主な検挙事例として、窃盗（さい銭ねらい）事件があった。
- 110番映像通報システム活用状況について、実際に指令に活用できた受理件数は312件と、前年比125件増加した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「110番映像通報システムが有効に使用されていることが分かった。引き続き、普及に

向けて取り組んでいただきたい。

行方不明者を捜索する上で、110番映像通報システムにより画像共有できることは効率的であると思う。今後も有効活用し、成果につなげていただきたい。」

旨を発言した。

(6) 令和6年中の刑事事件検挙状況（暫定値）

警察本部から、

- 令和6年中、刑法犯の認知件数は9,728件と、前年比498件増加、検挙件数は3,857件と、前年比176件減少、検挙人員は2,764人と、前年比39人減少、検挙率は39.6%と、前年比4.1ポイント減少した。
- 重要犯罪の認知件数は144件と、前年比15件減少、検挙件数は160件で前年比同数、検挙人員は124人と、前年比43人減少、検挙率は111.1%と、前年比10.5ポイント上昇し、全国順位は2位であった。
- 重要窃盗犯の認知件数は589件と、前年比52件減少、検挙件数は324件と前年比109件減少、検挙人員は93人と、前年比21人減少、検挙率は55.0%と、前年比12.6ポイント減少した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「重要犯罪の検挙率が高いことは、県民の安心の基盤となるため、素晴らしい結果であると思う。

犯人を絶対に許さないという強い気持ちが重要犯罪の検挙につながっていると思う。今後も重要犯罪から県民を守っていただきたい。」

旨を発言した。

(7) 令和6年中の組織犯罪事件対策状況（暫定値）

警察本部から、

- 令和6年中、特殊詐欺の認知件数は197件と、前年比15件増加、被害額は約6億3,240万円と、前年比約2,460万円増加、検挙件数は59件と、前年比24件減少、検挙人員は26人と、前年比4人増加、検挙率は29.9%と、前年比15.7ポイント減少した。SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数は139件、被害額は約16億7,620万円、検挙件数は4件であった。
- 暴力団の検挙件数は76件と、前年比9件増加、検挙人員は91人と、前年比17人増加した。匿名・流動型犯罪グループの対策として、被害が急増しているSNS型投資・ロマンス詐欺、金属盗や高級自動車窃盗等の組織的窃盗に対する個別の部門横断型プロジェクトチームを設置した。
- 薬物事犯の検挙状況について、覚醒剤検挙人員は72人と、前年比2人増加、大麻検挙人員は97人と、前年比9人減少、麻薬・向精神薬検挙人員は4人と、前年比3人減少した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「覚醒剤等の薬物事犯は低年齢化の問題など、影に隠れた問題があると思う。若年層が薬物犯罪に染まらないよう取り組んでいただきたい。

組織犯罪は、県民の体感治安上、非常に重要であると思う。いかに犯罪収益を没収するかということに注力していただきたい。」旨を発言した。

- (8) 人事案件  
警察本部から、人事案件について報告を受けた。
- (9) 行政訴訟事件等の判決結果  
警察本部から、行政訴訟事件等の判決結果について報告を受けた。
- (10) 国家賠償請求事件の判決結果  
警察本部から、国家賠償請求事件の判決結果について報告を受けた。
- (11) 令和6年度岡山県警察拳銃射撃競技大会の開催概要  
警察本部から、令和6年度岡山県警察拳銃射撃競技大会の開催概要について報告を受けた。
- (12) ストーカー規制法に基づく禁止命令等  
警察本部から、ストーカー規制法に基づく禁止命令等について報告を受けた。
- (13) 著名人を起用した交通安全啓発動画等の制作  
警察本部から、著名人を起用した交通安全啓発動画等の制作について報告を受けた。
- (14) 「国家公務員OPENゼミ(〈理系限定〉冬の1Day職場訪問・仕事体験)」の実施  
中国四国管区警察局岡山県情報通信部から、「国家公務員OPENゼミ(〈理系限定〉冬の1Day職場訪問・仕事体験)」の実施について報告を受けた。

#### 4 次回公安委員会

令和7年2月6日(木)13時00分から開催予定